

ガーデンシティみしま推進（中郷温水池公園整備事業、 大場・函南IC高架下ポケットパーク整備事業）

アナ： 『市長が語る 2015 三島』第 23 回の今日は、ガーデンシティみしま推進事業の中から「中郷温水池公園整備事業」と「大場・函南インターチェンジ高架下ポケットパーク整備事業」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： まず、「中郷温水池公園整備事業」について教えていただけますか。

市長： 皆様も中郷温水池はご存じのことと思いますが、中郷温水池は源兵衛川の湧き水を稲作用水として利用するために、水を温める溜め池として昭和 28 年に建設されました。平成 8 年から平成 10 年にかけて多種多様な生物の生息地（ビオトープ）として再整備され、周囲には木々が植栽された気持ちの良い散策コースとなっています。

池の南端は、逆さ富士が美しく映る絶好のビューポイントとして知られており、平成 18 年度には「静岡県景観賞最優秀賞」を受賞しています。

今回行う整備は、この中郷温水池を、楽寿園から源兵衛川や大溝川を經由して松毛川までの水辺景観ルートの中継点とするため、県の補助金を活用して、2 年計画により都市公園として整備を行うものです。

アナ： その整備内容を詳しく教えていただけますか。

市長： 中郷温水池は既に公園の要素を持った整備がされていますので、あまり大がかりな工事を行うことは考えていません。水辺景観の特性を生かして、以前に飲食施設のあった北側部分と池の南端部分の整備を中心に行う予定です。

北側部分の整備につきましては、水辺景観ルートなどをウォーキングされてきた人達が休憩できるオープンスペースの確保と園路の整備、水と緑の拠点となり得る草花を植栽し、散策される人達が四季折々を楽しんでくださればと考えています。

また、お体が不自由な人やご高齢者などのための駐車スペースの整備を予定しています。

池の南端の主な整備につきましては、水面に映る富士山を眺められるビューポイントとなるよう、芝生を貼りベンチを設置してゆったりと休息できるスペースをつくりたいです。

アナ： この整備によって中郷温水池がリニューアルされ、ガーデンシティのシンボリックな公園となりますね。

次に「大場・函南インターチェンジ高架下ポケットパーク整備事業」についてお伺いします。

市長： 昨年の2月に開通しました東駿河湾環状道路の大場・函南インター西側に歩道が整備されましたが、その歩道と環状道路の間にできた残地を国土交通省からお借りしてポケットパークを整備するものです。

スマートウエルネス推進に伴い近年市民の皆様は健康に対する意識が高くなってきており、市内のいたるところでウォーキングをされる姿が見受けられます。そこで、ウォーキングの途中で休憩してもらえるようにベンチを設置し、簡単な運動のできる広場を整備します。広場には芝生を貼って多目的な用途にご利用いただこうと考えています。

また、整備完了後は地元の皆様のご協力をいただきながら維持管理を行っていきたいと思います。

アナ： この二つの施設が完成したら更に多くの市民の人達がウォーキングされることですね。

市長： そうですね、今回の整備によってガーデンシティだけではなくスマートウエルネスとの相乗効果も期待できますので、更に“健幸”都市づくりにもつながっていくことと思います。

アナ： これからも、「美しく品格のあるまち」そして「“健幸”なまち」にふさわしい三島市となるような取り組みを期待しています。

豊岡市長、今日はどうもありがとうございました。

市長： ありがとうございました。